

会 議 開 催 結 果

1 会 議 の 名 称	令和7年度砥部町行財政改革推進委員会
2 開 催 日 時	令和7年12月18日（木）14:00～15:00
3 開 催 場 所	砥部町役場 2階 大会議室
4 審 議 等 事 項	(1) 第2次集中改革プランについて (2) 第3次集中改革プラン（案）について
5 出 席 者 名	【出席委員】 正岡 健次、小田 理恵子、上田 文雄、田本 克彦、 大久保 武、渡部 麻紀 【事務局】 菊池 安修（企画財政課課長補佐）、岩佐 千恵（同課係長）、 坪内 千尋（同課主事）
6 公 開 又 は 非 公 開 の 別	公開
7 非公開の理由	—
8 傍 聴 人 数	0人
9 所 管 課	企画財政課 企画政策係 電話 089-909-4670

令和7年度砥部町行財政改革推進委員会 会議録

発言者	発言内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ ・会議の公開・非公開について ・配布資料確認
事務局 委員	<p>協議事項</p> <p>(1) 第2次集中改革プランについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局説明 <p>「キラまち事業」について、昨年度も実績がゼロだったと記憶している。住民の皆さんとイベント関係というか、コミュニケーションを取る部分に関して実績があまり芳しくないように見受けられるが、今後の進め方や分析について伺いたい。</p>
事務局	<p>これまで区長会等で働きかけを行ったが、申請が出てこなかったということで、その原因を調べるために全区を対象にアンケートを実施し、その結果から、潜在的に要望が少なかったことを踏まえて、来年度以降については実施をしないという方向で検討を進めているところである。同じく「デリバリーとべ出張出前講座」についても同様にアンケートにてニーズ調査を行った。今後について、計画を詰めているところである。</p>
委員	<p>人的にも財政的にも厳しい状況であると感じるが、水道事業については、今後、単独で効率化していくなど、どのような体制をお考えか。</p>
事務局	<p>水道事業については、国や県による広域化・共同発注の動きを注視し検討する。</p>
委員	<p>「円滑な財政運営に向けた基金の積立」について、公共施設更新準備基金が寂しいと感じる。今後、様々な長寿化対策もやってくる必要が出てくると思われるが、基金の残高についてどのように捉えているか。また、「普通財産の貸付、売却」についても、先日バスツアー（※遊休公共施設等を案内するツアー）をされており、町長が変わって積極的に取り組まれていると思うが、県外からの関心など、実施の感触について教えて頂きたい。</p>
事務局	<p>まず、基金の積立について、財政部局から職員向けに町の財政状況の説明会が今年度行われており、基金の積立は足りていないと認識している。来年度の当初予算査定では、どれだけ縮小できるかを厳しくみている。続いて、バスツアーについて、30名ほ</p>

	<p>どの参加があり、アンケートの結果では、遊休公共施設に興味を持った方が5者いる。また県外からの参加者は3分の1ほどおり、ツアーを通して、町の遊休資産に興味がある方がいらっしやると分かっただけでも実りがあったと言える。</p>
委員	<p>県内の自治体で、緊急事態みたいな形で宣言されてると思うが、出方によってはすごく住民の方に不信感を与えてしまう。早め早めに対処をしていく必要があると思う。町民の皆さんに不信感を与えないようなやり方、情報の出し方っていうところを意識していただきたい。</p>
事務局	<p>情報の出し方ってというのは、新町長からもよく言われていることなので積極的に町民の方に情報を流すようにオープン化を進めている。今後も町民の方に不信感を持たれないように情報発信には気をつけていく。</p> <p>補足として、10月に、町民を対象に町長自身が財政状況の説明会を実施、また、毎月の広報の裏面で情報も発信をしている。</p>
委員	<p>A判定が減少し、B・C判定が増加している要因をどう捉えているか。</p>
事務局	<p>達成が困難と判断した事業や、都市構造の見直しが進まず着手できなかった組織立ち上げ（C判定）などが要因である。リソース不足も一因であり、今後は項目を絞り、真に行財政改革に寄与する取り組みに集中したい。</p>
事務局	<p>協議事項</p> <p>（２）第３次集中改革プラン（案）について</p> <p>・事務局説明</p> <p>方向性は賛成である。各施策のアクションプランを明確にするため、プロジェクトマネジメント体制の導入が必要。担当課に任せるとかではなく、全庁的なチーム体制を明確にしていくことも大事。また、ふるさと納税の目標を３億円としているが、もっと大きく狙えないか、例えば砥部焼とのコラボなど、今後の展開を伺いたい。</p>
委員	
事務局	<p>最終目標に向けて体制を整えていきたいと思う。また、ふるさと納税について、現在、主な返礼品が柑橘であるが、砥部焼を選んでもらえるような取組を今考えているところである。</p> <p>・事務連絡</p> <p>・閉会</p>